

# 港区職員退職者会だより

港区職員退職者会  
発行責任者  
本郷真一



2010年10月16日 於・港区役所



平成22年度長寿の祝い 出席者の記念撮影 (H22.10.16)

## 第40回定期総会

11年度活動計画・予算・規約改正を全会一致で決定しました

港区職員退職者会第40回定期総会は10月16日(土)午後2時から区役所9階大会議室で開催しました。総会に先立って行なった長寿のお祝い式には米寿2人、喜寿21人、古稀12人が出席され、本郷会長よりお祝金を贈呈しました。受贈者を代表して喜寿の横山直正さんがお礼の言葉を述べた後、本郷会長、武井区長、屋富祖区職労委員長と一緒に記念撮影を行いました。

総会は岡部副会長の司会進行により、この1年間の物故会員22人に黙祷を捧げた後、議長に吉野博之・興石隆さんのお二人を選出して開会しました。

本郷会長のあいさつに続いて武井港区長の祝辞、屋富祖区職労委員長、自治退都本部長浅沼尚さんから連帯のお言葉をいただきました。吉野議長から会員総数999名中、出席者135名、委任状477名で総会が成立していることが宣言されました。

10年度活動報告は柏事務局長が、決算報告は宮崎会計、監査報告は大友監事が行い満場の拍手で承認さ

れました。

議事に入り、2011年度活動計画は辻副会長が年金、医療、介護、税制問題について全国の高齢者と連帯して活動すると共に40周年を記念する交流親睦事業にも積極的に取り組むことを提案、続いて該当者が増える長寿祝い金の支出増を見込んだ総額535万円の「2011年度会計予算案」を提案し、それぞれ拍手で採択されました。第3号議案「港区職員退職者会規約改正」は組織の拡大に伴う機関運営の明確化を図るとの主旨を柏事務局長が説明し、満場の拍手により、規約第15条の規定により改正案は採択されました。

最後に興石議長が総会スローガンを読上げ、全員の拍手で確認し、午後3時15分に総会を終了しました。

### 当面する事業について

#### 声掛け運動 電話訪問

こきげん如何ですか

ことしも先輩の皆様には役員からお電話差上げます。

実施時期 2010年12月中旬

対象 85歳以上

担当 常任幹事及び三役

事前に「ハガキ」でお知らせいたします。

皆さんのご協力をお願いします。

『歯の痛みに悩』

柳沢 範光

私は在職中より歯の痛みが酷く、職場の異動先近くの歯科医に頻繁に通っていた。昔から「歯は健康の門」と云われていた。歯が傷んでいると、食物がよく咀嚼されず胃の負担もそれだけ増し、腸にも悪影響を及ぼすと思う。腸も弱く自宅以外のトイレにも再々御世話になる。情けなく思う。泣きたいくらいである。「ヒオフェルミン」錠は服用しているが、)

歯が傷んでいると食物の消化に悪いばかりか、人との面談時にも必要以上に唾液が飛び散り失礼することしばしばである。相手の面談人も不快なるし、私自身も気が重くなる。日常に於いても会話ではきはきした言葉も発せず、言語生活にも悪影響を及ぼし、少なからず日常の障害になる。歯が抜けたら、無かつたりした場合も然りである。(子供の時は歯並びが良いと云われていた。)

義歯を入れたり、傷みの無い隣接の歯にパネで義歯を嵌めてある場合、パネ自体が弛んだり、形が歪んだりする。私は食事の後や、就寝時は外す事が多い。夜は毎日である。パネの破損もある。その都度、歯科の御世話になる。料金も度重なる多額になる。

歯が悪い患者にとって一番悩むのは、折角治療しても短期間で又治療に迫られることがしばしばである。患者にとって悪循環の繰り返しである。良

医を求めようとしても、なかなか情報を得られない。インプラント治療もあるが、高額で年金生活者には「高嶺の花」である。頻繁に歯科医に行かなくて済む、良い方策は無いのだろうか。余談であるが、治療する必要性の無かった上前歯二本を都内の某歯科医院で破損されたのが通院の始まりである。



『十三夜』

鶴岡 武彦

橋のたもとで 見合す顔の  
もしやあなたは 広海屋の  
若ボンボンや おまへんか  
宵待顔を 朱にそめ  
なんと今宵の 恥ずかしさ

夢に描いた お方じゃけれど  
どうせこの世で 添えぬ仲  
切ない私の 胸のうち  
幼き夢に なぞらえて  
語り明かそか あの方に

何時か逢うたら お話しよと  
会えば云えない この想い  
月の灯りに 今一度  
いとしあなたの 面影を  
そつとつそか 十三夜

お元気ですかの追加分

高田 タケ

猛暑の夏が過ぎてやっと一心地が過ぎました。常盤平団地の五十周年の行事が種々重なり、九月十五日の敬老会は常盤平センター満席の祝賀会の宴が持たれ、幸せなことが続きました。当地に来て十五年、私も八十路となりました。大勢の友人とボランティアに頑張っています。常盤平が第二の故郷となりました。目の届くところに「子と清水」のベンチが完成して憩いの場となつて居ります。友と共に学び日々生き甲斐のある生活に心から感謝して居ります。何時もお世話に有難うございます。

新涼や子と清水に衿止す

松本 亥三男

いつもお世話様です。思いもせず永生き致しておりますが、最近とみに体力がおとろへ、病床にふせております。この数年、皆様にお会い出来ず残念です。会員の皆様のご多幸を祈っております

人見 秀子

毎日を大切に暮らしています。お世話になります。よろしくお願い申し上げます。

会員交流事業のお知らせ

第五回都内散策 谷中七福神巡り

日時 一月八日(土) 一時～四時頃迄  
集合 JR・西日暮里駅改札口付近

午後一時(昼食は食べてくること) 行程 東覚寺(福祿寿)→不忍池(弁財天)

解散は不忍池(弁財天)付近 案内ガイドあり。

問合せ先 恩田 090-8013-8444

第五回都内散策 六義園・上野広小路

(六義園から根津神社にお参りして不忍池を巡る約5キロ3時間の散策の後、上野鈴木寄席の寿司ざんまいで会食)

日時 11月20日(土) 一時～  
集合 山手線 駒込駅改札前  
案内人 岡部副会長  
定員 15名  
申込先 柏事務局長まで  
ケイタイ 090-5326-5525

締め切り 11月8日(火)  
割引入園するため、保険証等を持参して下さい。

第二十回ハイキング 野猿峠

日時 十二月四日(土)  
京王線高幡不動駅前十時集合  
雨天決行(多摩動物園)  
問合せ 048-686-0098 岡村、宮崎、

訃報

早川 宏 七十七歳

平成二十二年九月二十七日逝去  
謹んでお悔やみ申し上げます。

(第40回総会議案書の物故された会員欄に掲載された以外の方です。)



退職者会だより正月号から  
恩田英雄さんが編集します

岡村昭則

9年前に定年退職しましたが、38年間無事に勤めてこられたのも、職場の仲間があつてこそであり、恩返しのもりで退職者会の「退職者だより」編集を10年間の約束で引受けて今日に至っています。

平成13年47号、平成20年の72号まではワープロで編集してきましたが、73号の臨時号編集途中でワープロが壊れてしまい、予備のワープロも部品の劣化で動かず、慌てて元職場にワープロ探しに走りまわりました。しかし、手当てがでず困り果てていました。その時に閃いたのは、今、習っているパソコンで編集することを思い立ち、試行錯誤を繰り返して短時間のうちに一定のフォーマットを作ることに成功して、73号を初めてパソコン編集の下で発行することができました。

それ以来、「退職者会だより」の原稿収集はパソコンメールを中心に行い、レイアウトと編集もパソコンで行っていますので、ワープロ使用時よりも編集作業も短時間で行うことができるようになりました。ページも増やすことができました。編集も10年目に入りましたので、私は85号をもって退き、若手の恩田英雄さんに引継ぐことになりました。

私の10年にわたる「港区職員退職者会だより」編集記録

| 年    | 正月号     | 4月号    | 7月号        | 10月号        | 臨時号        |
|------|---------|--------|------------|-------------|------------|
| H13年 |         |        |            | 47号・4P      |            |
| H14年 | 48号・6P  | 49号・4P | 50号・4P     | 51号・4P      |            |
| H15年 | 52号・6P  | 53号・4P | 54号・4P     | 55号・4P      |            |
| H16年 | 56号・6P  | 57号・4P | 58号・4P     | 59号・4P      |            |
| H17年 | 60号・6P  | 61号・4P | 62号・4P     | 63号・4P      |            |
| H18年 | 64号・6P  | 65号・4P | 66号・4P     | 67号・6P      |            |
| H19年 | 68号・6P  | 69号・4P | 70号・4P     | 71号・4P      |            |
| H20年 | 72号・6P  | 74号・4P | 75号・4P     | 76号・4P      | 73号・4P(1月) |
| H21年 | 77号・8P  | 78号・4P | 79号・6P(8月) | 80号・4P(11月) |            |
| H22年 | 81号・12P | 82号・6P | 83号・10P    | 84号4P(9月)   | 85号4P(11月) |

振り返ってみますと、3ヶ月に一度の発行とはいえず、発行したら直ぐに次の原稿集めに苦勞し、特にワープロ時代はレイアウト、校正による字数調整、タイトルの張り付け等にも大変苦勞しました。こんなことの繰り返しであつたという間に10年目に入っていました。これまでの長きにわたって私の拙い編集で会員のみなさまに「退職者会だより」をお届けし、多々誤字、脱字でご迷惑を掛けたところもありましたが、お許しただきたいと思えます。長い間、ご愛読有難うございました。最後になりましたが、私を支え

ていただいた全投稿者の皆さんに感謝申し上げます。有難うございました。正月号から新鋭の恩田英雄さんが編集しますのでご支援ご協力を宜しくお願い致します。

第二回千葉県クラブ報告

宮崎武雄

10月23日(土)10:00にJR京葉線稲毛海岸に集合。参加者10人。

天気は、久しぶりの快晴。こんなに天気が良いので、屋内で食事をするのはもつたないかと駅周辺で飲み物と弁当を各人それぞれ購入して海辺で食べることにした。本日の案内役は地元藤倉荘一さん。バスで稲毛海浜公園入口まで行く。千葉市花の美術館は海浜公園の中にあり、ランの見事な作品展や大きな温室などゆっくりと見学した。その後、海に向かつて松林を見ながら砂浜に行く。砂浜と松林の境に昭和56年に市制施行60周年記念として磯の松原の碑が建っていた。裏面には本日の参加メンバーの一人、0さんが松の寄贈者名簿に名を連ねているのを見て、松林と浜の由来などを知り感慨に浸りながら歩いた。稲毛記念館近くの広い芝生で昼食をとり、缶ビールを開けて懇談した。次回は、中山法華寺から中山競馬場を見学し花見をしようということとでまとまった。(3月26日(土)予定、JR下総中山10時集合)皆

さん(ご参加) 食事後は稲毛記念館の屋上からの展望を楽しみ稲毛海岸駅まではのんびりと歩き午後2時頃解散した。



撮影者 西村年弘さん



撮影者 高橋康夫さん

### 第8回退職者会麻雀大会報告

初参加の三人を迎え、

元気をもらった一日！

この秋一番の小春日となった十月二日、マジジャン大好きな22人が集い、楽しいひと時を過ごすことができました。季節柄、お孫さんの運動会と重なり参加を辞退される方も多くいりましたが、一方、退職時、土木課だった西健司さん、保健所だった福島範房さん、三田中の内山誠一郎さんの初参加者を迎えることができました。

20年ぶりだと言う西さん・現職時代の50代までは、マジジャン漬けた福島さん・品川区の健康マジジャン教室では満足できないとおっしゃっていた内山さん、次回も引き続き参加をお待ちしております。

竹山さん、栄冠に輝く！

マジジャンというゲームは、やはり実力？ 前回、準優勝だった竹山さんが今回は優勝、準優勝は加藤 武さん（元収入役）、三位は前回優勝の松田 嘉孝さんという結果を突きつけられ、マジジャンは、運とかツキが勝負を大きく左右するゲームであるというの私の持論ですが、この持論が大きく揺らいでいます。

麻雀愛好家は、若い！元氣！

マジジャンゲームをこよなく愛する人は、心も体も比較的に健康な方が多い。ゲームに勝ちたいと思う気持ちで脳を活性化し、会場に馳せ参じる体力

や気力をも生み出す源泉となっているものと思います。傘寿を過ぎた小山さん・今年傘寿を迎える西村さん（今回は最下位に甘んじたが）・準優勝の加藤さん・吉井さん・佐枝さん、遠路からのご参加ありがとうございました。次回の参加も楽しみにしております。大会成績は、次のとおりです。

- 優勝 竹山 敏夫さん
- 準優勝 加藤 武さん
- 三位 松田 嘉孝さん
- 最下位 西村 年弘さん

今回は年明けの2月19日開催を予定しています。マジジャンは体力・気力を生み出し、頭の体操に効果的だそうです。参加をお待ちしています。（幹事 並木文雄、高橋央、竹本二郎）



### 江の島ハイキングに参加して

山田 順 崇

9月25日、天気予報では台風の影響で昼までは雨ということであったが、集合場所の小田急片瀬江ノ島駅へ向かう。午前十時には、曇り空ながら雨の心配は完全に消え、二十六名の人数が勢揃いした。

心地よい潮風に吹かれながら、弁天橋を渡り江の島に足を踏み入れる。青銅の鳥居をくぐって土産物屋、旅館などが建ち並ぶ商店街を通り過ぎると、江島神社の辺津宮、中津宮が次々に姿を現す。途中、動く登山道とでもいってべき江の島エスカーを横目に見ながら坂道を上がっていく。途中大島を望見することができた。島内最高所（標高59・8m）のサムエル・コッキング苑に江の島展望灯台が建つが素通りする。少し進んだところに当日の食事場所として予約された「江の島亭」が待つ。見晴らしの良い風情ありげな店である。その先の海岸まで足を伸ばすが、当日は砕け散る白波が岩場の上を洗い流すような状況で立入禁止となっていた。岩屋の入口前まで行ったが、食事の予約時間との関係もあり入洞を断念、江の島亭まで戻る。期待していた生白子は時化のため入荷が無く、各自がそれぞれに注文した白子揚げ丼、海鮮丼・定食などに舌鼓を打つ。午後一時、現地解散。全三時間弱のミニハイイクではあったが、展望、見所、食事とも申し分なく、参加者も多数で、思い出に残る一日になった。

### 「俳句」

徳 竹 邦 夫

小学校最終学年運動会  
棚田又棚田畦々曼珠沙華  
紅葉又紅葉武蔵野平林寺  
朝日射す諏訪社の杜の菊花展  
「昔は」をまた言ひにけり木の葉髪  
横 山 直 正

コスモスの吹き倒されて咲つづく  
いわし雲峠に人の影はなく  
窓を打つ雨晩秋の音となり  
山々の寝深々と冬に入る  
老幹に枯蔓しかと巻きのこり  
稲 垣 愛  
カレンダー一枘ごとにある残暑  
ざりざりと残りを焼くや秋立つ日  
雲水の声満つる堂涼新た  
古代人聞きし音なり木の実降る  
木霊みな鳴りを収めて山眠る  
米 倉 和 美  
朝刊の膨れてとどく文化の日  
嘴傷を勲章として木守柿  
鳥籠の鳥が友呼ぶ小春かな  
池の面に波紋広げて初しぐれ  
電飾の東京タワー冬隣  
寺 口 成 美  
骨折に指図増す妻柿の照り  
しがらみを捨てたい矢先曼珠沙華  
葛の風甘し被災者の名が並ぶ  
小六の鉄棒栗の毬爆ぜる  
鯛雲片道切符のボヘミアン  
.....  
正月号の投稿のお願い  
十一月末日までに退職者会事務局  
恩田まで、お待ちしております。